

学生4「5個だから、合計何個作るかを決めて価格を考えよう」

学生たちはこれまでの授業で学んだ計算式に当てはめ、グループ内で価格を決めた。グループ発表となり、答えとその理由を発表した。

グループA「390USドル」

グループB「1700USドル」…

先生「私の答えは250USドルです。みんなの理論よりも正しいというわけではないですよ。理由は…」

学生は喜んだり、落胆したりしながら真剣にノートを取った。

**MBAもMScも
楽ではないが、仕事に使える**

午後になって、伊藤はMScに出席した。UNEP(国連環境計画)職員による「持続可能な組織運営」の講演と議論だ。テーマは「社会の成長」。今日を2050年だと想定して、NPOにとり希望がある社会になっているのか、政府はどう行動しているかを想像しながら話し合った。

その夜、これまでの感想を伊藤に聞いた。すると開口一番「こんなにつらい経験は初めてだ。英語でこれほど苦労するとは思っていなかった。授業の内容を理解するだけで大変。そ

れに英語だけじゃない。議論中「どう思う?」と聞かれてもうまく話せない。説得力がないと突っ込まれる」

4日目の朝はMBAの組織論の授業だった。テーマは「職場における感情」で、主題は職場におけるいじめだ。最初に講義が行われた。いじめが原因で失職した人のドキュメンタリービデオを見て感想を話し合った。リーダーを目指す学生にとって親近感のある話題で、議論は盛り上がった。

午後はMScの授業で、グループに分かれ、前日と同じ「2050年の町づくり」について話し合う。伊藤が日本の町並みを紹介し「防風林を植えてはどうか」と言うと、その意見が採用された。

クラス全体での討議では最後まで伊藤は消極的だった。その点では不本意だった面もあるが、授業体験が終わったその時、MBAの学生たちからうれしい誘いが来た。翌日でバースを去る伊藤をタイ料理屋の食事会に招待しようというのだ。

学生「試験前で、きちんと対応できなかった。申し訳なかった」

伊藤の顔に笑顔が戻った。学生たちも久々の飲み会で盛り上がった。最後の会計時、余ったお釣りで5英ポ

バース大学で体験した1週間

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
8:00	学食で朝食	3時起床、資料読む 学食で朝食	3時起床、資料読む 学食で朝食	3時起床、資料読む 学食で朝食	学食で朝食
9:00	MSc	MSc▶持続可能な開発	MBA▶マーケティング	MBA▶組織論	
10:00	大学内を見学	MSc▶複雑系経済学	MBA▶マーケティング グループワーク		バース市内観光
11:00					
12:00	昼食	昼食	昼食	昼食	
13:00	MBA▶経営学				
14:00	途中15:00から15分 コーヒーブレイク	MSc▶NGOリーダーによる 講演	MSc▶UNEP職員の講演	MSc▶2050年の町づくり 15:10~18:20 グループ プレゼン	
15:00		MSc▶グループ討議			バース駅へ向かう
16:00				途中16:10から30分 コーヒーブレイク	
17:00					
18:00	学食で夕飯	バースの町で食事	学食で食事		
19:00					
20:00					
21:00					
22:00~				バースの町で、 MBAコースのメンバーと食事	

伊藤が持参した日本のお菓子を学生たちは大喜びだ

バース市内はメリーゴーラウンドや市場など楽しい雰囲気

学食にて。MSc学生と講演者のNPOリーダーと話す

「頭の中ではいろんなことを考えているんですが、口から出ない」と伊藤

